

実施年度 : 2024 (2025 入試) 年度

試験日 : 2025 年 2 月 23 日

入試種別 : 大学院 (修士課程) 入学試験問題

学部・研究科 : 実践真宗学研究科

科目名 : 英語

【解答又は解答例】

1

(1) 解答例: 釈尊の弟子である、私、愚禿親鸞にとって、なんとよろこばしいことだろうか。西方インドから伝えられた聖典、中国と日本の祖師方の書かれた註釈書には、遇いがたいのに、今、私はすでに会うことができ、そこに説かれた教えは聞きがたいのに、私はすでに聞くことができたのだ。

(2) 解答例: 善人でさえも浄土に往生できるのです。まして悪人が浄土往生できることとはいうまでもありません。

(3) 解答例：浄土教の伝統の始まりは、歴史上のブッダがインドでこの宗教を創始してからおよそ 5 世紀後である紀元前 1 世紀に大乘仏教が興起した頃に遡る。浄土仏教は、大無量寿経、阿弥陀経、観無量寿経の三つの大乘経典に基づいてその教えが説かれる。

2

当該問題は、受験生の今後の研究に必要となる英語の作文能力を問うものである。解答が一義的でなく解答例の提示はなじまないことから、採点のポイントを示す。

採点は以下の点を踏まえて総合的に評価する。

- 設問の指示に従い回答していること。
- パラグラフの構成（主張→理由→結論）が論理的であること。
- 一貫した論旨で自身の考えがしっかり述べられていること。
- なお不適切な語彙の使用や文法・スペルなどのミスは減点を行う